

編集後記

大学院の修士論文と博士論文の発表及び審査もそろそろ終わりとなり、研究室メンバーも緊張から徐々に解放されてきました。と同時に、頑張った院生達の卒業が近づくため、今度は寂しい感情が研究室内に広がりそうです。

さて、今回の「物性研だより」では、URA インタビュー記事として新日鐵住金株式会社の本間上席主幹と URA 鈴木さんの対談が掲載されています。「基礎研究から実用化に向けた障害は『死の谷』ではなく『研究課題の宝庫の山』であり、『ダーウィンの海』を泳ぎ切った先に『前人未到の真理の世界』がある」、とは、大変心強い言葉でした。今回の研究トピックス記事でも、それぞれの科学的価値だけでなく産業応用への展開を記した文章が多々見られました。そのため「基盤技術・基礎科学による産業課題解決」を意識する者にとって、本号は大変読み応えのある一冊となっています。

今回の「物性研だより」では、大変お世話になった高橋敏男先生と家泰弘先生の記事が掲載されています。先生と過ごした充実した時間を思い出しながら、拝読させていただきました。

松 田 巖